



新堀小だより

最終号

令和5年3月24日発行

スマイル&
チャレンジ

元気いっぱい 夢いっぱい みんなが輝く新堀小学校

新堀小3つの約束「心のこもったあいさつ 時を守る みんな仲よく」

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>



祝卒

~コロナ禍を越えて~

校長 若林 寿

『1年間お世話になりました』

春の風が心地よい季節となりました。保護者・地域の皆様には、1年間、本校の教育活動に様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。3学期には、来年度のリーダーとなる5年生の児童が、お世話になった地域の方々に感謝を伝える会を行いました。短時間でしたが、学校の屋上を会場にした“青空の下での和やかでほのぼのとした会食会”は、コロナ禍を越えて、再び地域の方々との交流活動ができるようになった喜びを実感する時間でもありました。来年度も、新堀小学校の教育活動に皆様のご理解とご協力、そしてご支援をいただきますようお願いいたします。

『旅立ちの時』

第49回の卒業生73名が新堀小学校を巣立っていきました。

「2年生、4年生への音楽発表会」、「6年生を送る会」、「中学生との座談会」、「卒業式予行練習」など行事を経るにつれて「卒業」が近づいていることを実感し、中学校進学への期待や小学校生活への感謝と別れの寂しさが伝わってきました。式では、マスクを外した素顔と立派な立ち居振る舞いに見惚れました。「旅立ちの日に」の合唱、代表児童菘原さんの別れの言葉も素晴らしかったです。コロナ禍を越え、とても感動的な卒業証書授与式でした。小学校生活で一人一人が自信と誇りを身に付けてくれたと信じています。また、小学校生活で学んだこと全てがこれからの生き方に繋がっていくと信じています。

『Dreams Begin here』

「卒業」は、新たなスタートでもあります。夢はこれからの出会いで変化するかもしれませんが、気持ち明るく持ち、希望ある未来を自らの手で創りだしてほしいと思います。立派な伝統を築いてくれた6年生に心から感謝するとともに、中学校でもますます活躍してくれることを期待しています。

『次の学年へむけて新しいスタートを』

本日は、在校生にとって1年を締めくくる大切な修了式です。持ち帰ります通知表（修了証）については、家族と一緒に振り返っていただき、新しい学年への意欲が高まりますようお声かけをお願いいたします。

パートナースクール CAJ

『3年生オンライン合同授業』

去る3月9日、インターナショナルスクール クリスチャンアカデミー イン ジャパン(CAJ)とのオンライン合同授業が遂に実現しました。新堀小学校の児童は習った英語を使う場として、CAJの児童は習った日本語を使う場として、また、外国語学習への意欲や必要感を高める機会として、とても有効なものとなったと感じています。グローバル人材の育成に向け、3年生が踏み出してくれた大きな一歩です。今後は、この取組を他学年へと広げていくとともに、更に有効な学習へと深化させていきたいと考えています。We look to the future now.



『6年生 CAJ ツアー』

また、卒業を前にして6年生児童がCAJを訪問し、ミドルスクールの生徒と交流しました。まず、新堀小の児童は自慢の合唱「旅立ちの日に」を披露し、大きな拍手とCAJの校長先生から“*They did a terrific job singing*”と称賛の言葉を頂きました。その後、小グループに別れて、ミドルスクールの生徒さんによる校内ツアーに出発しました。自己紹介や質問等、今まで習った英語を頑張って使っていました。ツアーの後は、CAJのプレーグラウンドで、遊具で遊んだり、サッカーやバスケットボールをしたりして一緒に体を動かして楽しい時を過ごしました。スマイル&チャレンジ! 新堀小の児童は、CAJの生徒に笑顔で積極的に声をかけ、誘っていました。6年生の児童たちは、本校の親善大使となり、後輩たちへ繋ぐ大きな仕事をしてくれました。パートナースクール CAJ との来年度の交流活動がとても楽しみです。